
【資料Ⅰ】

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と

意見に対する市の考え方について

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

■募集期間 令和4年2月1日(火)～令和4年3月2日(水) :30日間

■意見人数

10人

- ・フラワータウン在住者 : 7人
- ・フラワータウン以外在住者 : 3人

■意見件数

41件

- ・A)再生ビジョン(案)を修正するもの : 2件
- ・B)再生ビジョン(案)は修正しないが、
今後の取り組みの参考とするもの : 39件

B-1: センター地区に関する事 : 4件

B-2: 深田公園に関する事 : 3件

B-3: 人と自然の博物館に関する事 : 3件

B-4: 住宅に関する事 : 8件

B-5: 遊休化する公共施設の利活用に関する事 : 3件

B-6: 公園・道路の管理に関する事 : 2件

B-7: 公共交通に関する事 : 2件

B-8: その他再生に向けた取り組みに関する事 : 14件

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

A 再生ビジョン（案）を修正するもの

No.	ページ	意見	市の考え方
1	7	住区別の人口・世帯数の推移を示すグラフが見にくい。グラフ中に数値が記載してあるが、何年の何を示したものかわからない。8ページのようなグラフにするべき。	ご意見を参考に、P.7のグラフをわかりやすく修正します。
2	69	「遊休化した公共施設」とあるが、「遊休」とは使える状態なのに活用せず放置しておく事を指す。公共施設の再編が今後起こりえることは理解するが、「遊休化」する前に利活用を検討・実施するべき。	使用されなくなる公共施設は、放置することなく再編する時期に合わせて活用していくことを想定しています。ご意見を踏まえ、「遊休化した」を「遊休化する」に修正します。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-1 センター地区に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
1	40	<p>住民の行動調査しかできていないので、結果にはあらわれていないが、<u>イトマン(水泳教室)の広域集客力はかなり高い</u>と考えます。神戸市北区、ウッディタウンからも相当量集客しており、送迎の親によりフローラ88の売り上げに貢献している。</p> <p>特に<u>若年層を集められる唯一の施設</u>と考えます。</p> <p>プール設備の老朽化で、撤退するリスクをはらんでいますので、<u>補助金等での引き留めが必要</u>と思います。</p> <p>イトマンがなくなったら、確実にフローラ88に大打撃となります。</p>	<p>フラワータウンに来訪されている方の意見として、「水泳教室に通っている」「子供の習い事の送迎のついでに買い物している」といったものがあることを「まちかど談話」により把握しており、ビジョンP.29、30に記載しています。特定の民間事業者に直接的に補助金等を支出することはできませんが、水泳教室の撤退はフラワータウンにとって影響が大きいものと認識しています。ご意見については、<u>今後の事業者と連携したセンター地区の魅力向上の取り組みの参考</u>とさせていただきます。</p>
2	84	<p>まちの機能として、入居テナントなどの活性化については、<u>イオンなどと協議して賑わうまちづくり</u>をしてほしい。<u>高齢者については、スマートシティ、スマホを使ってわかりやすい町、わかりやすいSOSの信号を出すシステム</u>を作ること。</p>	<p>民間事業者をはじめ、様々な関係利害人と連携した再生への取り組みの必要性についてビジョンP.73に記載しています。</p> <p>ご意見にありますように、入居テナントの活性化はフラワータウンの再生に向け必要であることから、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p> <p>また、<u>全市的に先進的技術を活用した「さんだ里山スマートシティ」の取り組みを進めており</u>、「三田市LINE公式アカウント」の運用によりわかりやすい各種情報の発信にも取り組んでいるところです。ご意見につきましては、高齢世代が暮らしやすいまちとなる取り組みの参考とさせていただきます。</p>

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-1 センター地区に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
3	—	私が働いているシンガポールは、淡路島サイズの島国に約560万人の国民と100万前後の外国人が住んでいる国ですが、計画的な街作り(国作り)で、縦断、横断する高速道路も片側3・4車線が整備されています。また、大きな公園も緑も多く、更に地下鉄も島全体をカバーするほど充実しており、各駅に大きなショッピングモールが作られ、どこも賑わっています。やはり交通の便、並びにそのアクセスとつながるところに便利なショッピングモールが存在することがシンガポールを見ていると、その必要性が改めて感じます。フラワータウンにおいても駅周辺の再編が必要です。	フラワータウン駅周辺の商業施設が集積しているセンター地区の活性化は、フラワータウンの再生に向けて必要であると認識しています。交通結節点としての機能を持つ駅周辺の機能拡充を図ることについてビジョンP.66に、センター地区を人が集まる場所として機能強化を図ることについてビジョンP.71に記載しており、今後ビジョンに基づき取り組みを進めてまいります。
4	—	フラワータウン駅周辺について、商業施設はあるものの壁面がくすんでいたり全体的に暗い印象。壁面の塗り直しをするだけでも雰囲気明るくなると思う。	フラワータウンはまちびらきから40年が経過し、商業施設の外壁のくすみなどがあることは否めません。商業施設の外壁の美化や改修工事などは、各事業者が計画・実施されることになりましたが、ご意見にあるフラワータウン駅周辺の良い雰囲気づくりについては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-2 深田公園に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
5	74 (要約版8、9)	三田市の各イベントを、深田公園でできないか？ また、周辺の駐車場料金について無料にできないか？ 神戸ハーバーランドでも会員は平日4時間、休日3時間無料となっている。	ビジョンP.83には、人と自然の博物館周辺での賑わい創出として深田公園を利用したイベント開催について記載しており、ビジョン策定後取り組みを進めていきたいと考えています。 また、ご意見を参考に、今後、イベントの開催時などは、公共交通の利用促進を図るとともに、周辺事業者と連携・協力し、駐車場の利用がしやすい環境及び仕組みの構築を模索してまいります。
6	—	フラワータウンには深田公園という大きな公園があります。ここを起点として、文化、センス、イメージを広げるなど、公園を核としたまちづくりをしなければなりません。深田公園を整備し、何かイベント(できれば国際的な)を開催しなければなりません。姉妹都市と連携したもの、人と自然の博物館と連携したもの、全国各地の博物館と連携したものでもいいです。交流のキーワードは哲学、歴史、音楽、文学、絵画 彫刻など材料はたくさんあります。ここを起点として、サイクリング、ジョギングコースを整備するものいいかもしれません(現状整備不良)。 高齢化した街ですが、それでも元気な高齢者が多いです。引っ張り出せるようなイベントが望まれます。	高規格に整備されている公園は、フラワータウンの特徴の1つとしてビジョンP.17に記載しています。特に深田公園はフラワータウンの中心に位置し、人と自然の博物館が存在していることから、ここを利活用する再生に向けた取り組みは必要であると考えています。ビジョンP.68には、地域や民間事業者が一体となり公園の積極的な活用を進めることについて記載しております。ご意見を参考に、今後のフラワータウンの活性化に繋がる取り組みを検討してまいります。
7	—	深田公園はシンガポールの公園と比べてもすばらしいと思いますが、優雅な三田の自然と博物館を楽しむために周辺の整理が必要かと感じています。ただ博物館はもっと人が集められるよう工夫することが大事です。	ビジョンP.83には、人と自然の博物館周辺での賑わい創出として深田公園・円形劇場を利用したイベント開催について記載しており、ビジョン策定後取り組みを進めていきたいと考えています。 また、令和4年の秋には新たな魅力となる人と自然の博物館の新しい収蔵庫棟がオープンする予定であり、周辺の整備も併せて実施していくなど、交流人口の増加に繋がる取り組みに努めてまいります。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-3 人と自然の博物館に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
8	83	博物館のあるまちとしての空間を利用した講演会やフェスタなどを開催し、賑わいを取り戻してほしい。	人と自然の博物館の存在は、フラワータウンの特徴の1つであると認識しており、ビジョンP.19に記載しています。また、人と自然の博物館を活用したフラワータウンの魅力向上のための取り組みについてビジョンP.71に記載しています。多世代が参加しやすいイベントの開催は、賑わいの創出、フラワータウンの魅力向上に繋がると考えており、ご意見を参考に今後検討してまいります。また、令和4年の秋には新たな魅力となる人と自然の博物館の新しい収蔵庫棟がオープンする予定であり、周辺の整備も併せて実施していくなどイメージアップが図られるよう努めてまいります。
9	—	人と自然の博物館というきちんとした施設があるのだから、もっと有機的に活用できたらいいと思う。具体的なことは思いつかないが、若い人でも誰でも来やすいイベントなどがあるといいかもしれない。	
10	—	フラワータウンには、県立人と自然の博物館があります。これを生かした文化教養施設を核としたまちづくりをしなければなりません。三田の文化、知性の中心です。研究会、学会、同好会などいろいろとできます。また、全国各地はもとより、海外の博物館との交流を広め、その交流会には市民を無料で参加できるようにすればいいと思います。周辺の整備も実施し、イメージアップしなければなりません。人が集まれば、いろいろな店が出てくるでしょう。	

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-4 住宅に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
11	41	<p>空き家のバンクはうまく活用されていますでしょうか？ 古い家の取り壊し費用の補助なり、金銭面の魅力が必要だと思います。</p> <p>その後の所得税収入等、空き家のままにしておいた場合と比較すれば、少し補助してもお釣りが来るのではないのでしょうか。 (広い目線でのお金の使い方をお願いします。)</p>	<p>フラワータウンの空き家については、市の空き家バンクに登録される前に民間の不動産業者において売買が成立している状況です。</p> <p>ビジョンP.81には、若年層・子育て層に移住・定住される取り組みをキックオフプロジェクトとして記載しており、移住時のハードルの検証と移住・定住に繋がる効果的な支援を図るとしています。ご意見については、金銭的補助に関する費用対効果を検証し、今後の支援策の参考とさせていただきます。</p>
12	46	<p>若い世代の移住について、現在関西学院大学の学生の家賃が高く、また一人暮らし用アパートが横山や三田駅周辺に多いため、交通費が高かつき、一人暮らしに踏み切ることができておりません。また、最終的な交通機関はバスしか通っていないため、非常に混雑しております。<u>ウッディタウンやフラワータウン、学園など、自転車や徒歩圏内の一人暮らし用アパートを検討して頂きたいです。</u></p>	<p>今後、あらゆる年齢階層がバランスよくフラワータウンに居住するまちを目指す取り組みをビジョンP.65に記載しています。ご意見にあります賃賃を含めた単身者用住宅の立地については、ニーズの把握や周辺の住環境との調和などを考慮し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
13	49	<p>基本方針1、目標、スタイルはその通りと思うが、<u>住み替えやニーズに応じた住宅供給の具体的な策P63、65がマッチしていないように思う。</u>Uターン者は勿論、テレワーク時代のニーズから既に三田市は候補地の一つ。<u>最も必要なのは、現在～将来の年齢構成に見合った住宅の供給であり、まわる仕組み、構造改革。魅力発信等にかかる費用は、魅力ある街づくりや移住補助等の他の施策に回し、それ自身が発信となる。</u></p>	<p>若年層、子育て層の移住定住促進を図る仕組みづくりの取り組みについてビジョンP.63に、また、あらゆる年齢階層がバランスよく居住するため、多様な住宅を活用した住み替えの仕組みづくりの取り組みについてビジョンP.65に記載しています。ご意見にあります現在から将来の年齢構成に見合った住宅の供給については、市でも必要と考えています。ご意見を参考に、フラワータウンの特徴や強みを活かし、良好な住環境を維持しながら世代間の住み替えが実施されるよう、取り組みを進めてまいります。</p>

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-4 住宅に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
14	50 (要約版4)	Uターンし、親子や三世代が交流する暮らしについて、つつじが丘ではUターンで帰ってきている方が多いという記事を見ました。その理由は物件価格が安いからである。フラワータウンは物件価格が高い。安くする術が必要ではないか？	一般的に、物件価格は立地条件や周辺の環境などにより異なります。フラワータウンは、郊外でのゆとりある居住空間を形成するため戸建住宅の敷地面積が広めであり、物件価格が高水準となる要因の1つであると考えています。ご意見につきましては、今後、居住環境への影響を勘案しながら、若年層・子育て層がフラワータウンへ移住・定住しやすい施策検討の参考とさせていただきます。
15	63	若年層、子育て層のニーズに合わせた住宅形式とあるが、元々その世代が移住して形成された街、住戸。それが30年たち構成家族が親のみになり、広すぎる家に住み続けている。供給が必要なのは、高齢者世帯のニーズに合わせた住宅の供給で、それにより住み替え、移住が促進されるのではないのでしょうか(P65の多様な住宅形式の中で最も不足)。空き家になってからではなく、健康な高齢者が住み替え、更に生き生きと生活するための高齢者住宅、マスターマンション等、夫々のライフスタイルに合わせた多様な高齢者住宅がタウン内、近隣地区にもっと必要と思う。(勉強不足ですが、高齢者住宅はゼフィールのみ？)	若年層、子育て層の移住定住促進を図る仕組みづくりの取り組みについてビジョンP.63に記載していますが、その仕組み構築には各世代のニーズやライフスタイルに応じた住宅が必要になります。ご意見にありますように、フラワータウンには高齢者専用の住宅が少ないことから、フラワータウンのみならず近隣地区を含めて、今後、高齢者が安心して暮らせる住宅の供給を検討する際の参考とさせていただきます。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-4 住宅に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
16	81	<p>フラワータウンは、若年層の多くからは既に候補の一つになっていて、いざ探したら物件がない。空き家は勿論、4人以上家族向けの住人の住み替えがスムーズに行える、したくなるような環境を整えることで、若年層も流入、住み替えの高齢者もハッピーに。資金補助も必要だが、やはりニーズに合った高齢者住宅を増やす必要があると思う。身近には深田公園、人博、パスカル、温泉施設など高齢者に住みよい環境は整っているの、無理な若年層向けの施設にこだわる必要はなく、住み替えが回る構造へ変革すればよいと思う。</p>	<p>ご意見にありますとおり、フラワータウンにおいて売買物件が少数であることは、市内不動産業者の聞き取りにより把握しております。若年層、子育て層の移住定住促進を図る仕組みづくりについてビジョンP.63に記載していますが、その仕組み構築には各世代のニーズやライフスタイルに応じた住宅が必要になります。高齢者のニーズに応じた住宅も必要になることから、ご意見を参考に世代間の住み替えが実施されるよう、取り組みを進めてまいります。</p>
17	81	<p>若年層の定住について、学生(大学生など)に県営・市営・住宅整備公団の賃貸住宅に入ってもらい、そのまま就職して三田市に定住してもらう仕組みを作ることにしておけばいい。学生のまち、学生が定住して社会人として三田から通うことを基本として人口増加としていく以外ないと思う。</p>	<p>現在、フラワータウンには兵庫県営住宅がありますが、大学生を対象とした募集は行っておりません。ご意見にありますように、学生にフラワータウンに住んでもらうことは、まちの活性化に繋がるものであることから、今後の若年層の移住・定住の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
18	84	<p>空き家対策として、空き家にまた若い人が住んでもらえるような法対策、経済対策を検討してほしい。</p>	<p>空き家を活用した住み替えの仕組み構築についてビジョンP.65に記載しております。今後、フラワータウンでは空き家の増加が予想されており、ご意見にありますように、空き家に若い人に住んでもらうことは空き家対策にも繋がると考えられることから、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-5 遊休化する公共施設の利活用に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
19	8	ピーク時に3,000人いた小学校区をコミュニティとした施設、街づくりだったので、小学校1,200人に減少し前提のベースが大きく変わっている。人口の年齢構成を変えるのではなく、現在～将来に向けた計画年齢構成に対して適した施設配置の見直しが必要。例えば、残念だがお世話になった小学校や幼稚園、センター地区の駐車場施設等は過剰なことは明白。統合や縮小により、将来の年齢構成に見合った新規施設、サービスへの転換等の構造改革が必要。勿論、統合や縮小による通学距離増等に対する対策も踏まえて検討要。	遊休化する公共施設を利用した新たな価値を創出する取り組みをビジョンP.69に記載しています。新たな施設の配置やサービスの転換等については、ニーズの把握や周辺の住環境との調和を考慮し検討することとしており、ご意見については今後の参考とさせていただきます。公共施設の機能統合などにより発生する課題につきましては、市においてその対応策を検討してまいります。
20	67、69	遊休化した公共施設や跡地を利用。新たなコミュニティの核となる高齢者住宅を、働く方の保育施設なども併設し、働く場、人材確保できる環境をととのえる。高齢者住宅、保育施設などの人材にはタウン内の元気なシニアの活用で地域の活性化、自立も促進。	遊休化する公共施設を利用し新たな価値を創出する取り組みをビジョンP.69に、また、商業・サービス・業務施設の立地による働く場の創出に関する取り組みをビジョンP.67にそれぞれ記載しています。この取り組みにより新たに配置された施設に様々な機能を併設し、また、そこを地域住民の働く場とすることは大変有意義であると考えます。ご意見につきましては、遊休化する公共施設の様々な利活用方法を検討する際の参考とさせていただきます。
21	69	フラワータウン駅前の旧駐輪場が遊休施設となっているが、市立図書館分室として改修し、市民の利用に供してほしい。特にCDやDVD等デジタル媒体を充実させ、将来ニーズを見据えたより若い世代にアピールする図書施設にしてほしい。	遊休化する公共施設を利用した新たな価値を創出する取り組みについてビジョンP.69に記載しています。この取り組みにより新たに配置された施設が、若い世代へのアピールとなり、若年層・子育て層が集うまちに繋がたいと考えています。ご意見につきましては、遊休化する公共施設の様々な利活用方法を検討する際の参考とさせていただきます。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-6 公園・道路の管理に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
22	45 (要約版3)	<p>多世代に選ばれるまちについて、フラワータウンを選んでもらうために何が必要か？人と自然の博物館、深田公園等各公園、道路等公共施設のアップデートは必要です。</p> <p>広大な深田公園は誇りです。しかし、芝生広場に草が生い茂るなど、悲しくなる時があります。</p> <p>また、道路の歩道について、フラワータウンではあまり感じませんが、ウッドータウンでは街路樹の根が歩道のアスファルトを押し上げ、凸凹で非常に危険な状態となっています。そういう所はすぐに対応できるようなシステムにした方が良い。</p>	<p>公共施設の維持管理・修繕については計画的に実施していますが、公園の草刈りなどが十分に行き届いていない現状もご意見としてお聞きしております。公園・道路などの都市施設を適切に管理し、積極的に活用することでフラワータウンの魅力の創造に繋げていく取り組みをビジョンP.68に記載しており、この取り組みを進めることで、<u>公共施設の適切な管理に努めてまいります。</u></p> <p>現在、市では令和3年1月から「スマートフォンによる道路・公園の不具合通報システム」により、住民からの通報に対し随時対応・修繕を行っています。また、歩道の根上がりなど交通支障への対策など今後の街路樹のあり方についても、現在、基本方針の検討に取り組んでいます。</p>
23	—	<p>近所の道路において実施されていた草刈り作業について、刈り残しがあったため違和感を感じ、市役所に問い合わせをした。市役所の回答は、予算の関係で、道路から1メートル以内の範囲しか刈りません、ということでした。</p> <p>残念な施策でなりません。こんな市を、永住の地に選びますか？子供があちこち走り回る際、蛇等に遭遇しないか不安でなりません。</p> <p>他に予算低減をするところはないでしょうか？</p>	<p>道路・歩道の植樹帯の草刈りは、適時実施していますが、市全域の植樹帯が対象となるため、現在の回数の増加、範囲の拡大は困難な状況です。しかしながら、今後、フラワータウンの魅力向上にまちの美化は不可欠との認識から、ビジョンP.73に記載している住民と連携した道路・歩道の草刈りや美化の促進について、地域のご理解とご協力を頂きながらまちの魅力向上の取り組みを進めてまいります。</p>

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-7 公共交通に関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
24	40	再生ビジョンはソフト面での検討が中心となっており、ハード面の検討が少ないと思います。 スマートモビリティのパイロット事業で補助金を活用するなど、思い切ったインフラ投資も必要と考えます。他のどこもやっていないようなことをやって欲しいです。	キックオフプロジェクトとして、移動性を高めるモビリティサービス充実の取り組みをビジョンP.82に記載しており、次世代モビリティに触れる機会を創出し、新たなモビリティサービス導入に向けた実証実験などの実施について提案しています。ご意見にありますように、パイロット事業での補助金の活用などを視野に入れながら、新たなモビリティサービス導入について検討してまいります。
25	82	すべてのひとが安心して移動できるまちとして、ICTやAIによる交通システムを構築するべく、スマホやアイホンを使用したバスの乗車ができるシステムにする。また、マイカーを持たなくても循環バス、または人口減少による神姫の小型バスの運行など検討してほしい。	ご意見にあります、スマートフォン等を活用した予約や決済システムの活用は、タクシーやバスなど既存の公共交通や新しい移動手段の利便性の向上や持続可能な運行につながる重要なツールになると考えています。住民ニーズに対応した利便性の高い、人や環境に優しい公共交通を目指す取り組みをビジョンP.66に記載しています。ご意見につきましては、公共交通の維持・利用促進の取り組みの参考とさせていただきます。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-8 その他再生に向けた取り組みに関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
26	5	計画戸数が9000戸、計画人口が34,000人に対して、募集期間終了H27年時点で戸数約8,500戸、人口約23,000人。この差の原因は？何が足りなかったのか？計画頓挫や未利用などがあるのか？少子化、世帯人口減の予測誤りだけなのか？ <u>計画未達の原因、分析をしっかりとした上で、次の計画に十分生かして欲しい。</u>	計画人口、計画戸数と平成27年時点での人口、戸数の差についてですが、 <u>主な原因は2つあると考えています。1つ目は、集合住宅用地を他の用地に変更し分譲・開発されたことによる戸数の減少です。2つ目は、1世帯当たりの世帯人員が減少したことによる人口減少です。</u> ビジョンでは、若者や子育て世代に受け継がれていくまちとして、 <u>新たな時代のライフスタイルやニーズに幅広く柔軟に対応できるまちへと生まれ変わる取り組みを提案</u> しています。ご意見につきましては、再生に向けた取り組みを進める際の参考とさせていただきます。
27	11～13	センター地区に施設が集中し利便性が高いとのことだが、近隣センターは空が目立ち始め、高齢化が進むとセンター地区への利便性は良いとは言えない。 <u>土地利用の規制緩和も必要では。宅配や往診などのシステム利用で補うのであればそれに対する補助、タウン内のミニ交通や移動手段の整備、移動店舗等の利便性を補う施策が必要。</u>	今後、 <u>高齢化の進展などにより、暮らしを支える様々な機能を住区の近くに配置する必要性が高まるため、住民のニーズに応じた建物の配置を促進する取り組みをビジョンP.67に記載</u> しています。また、ご意見にありますように、 <u>宅配サービスや医療における往診、移動手段、移動店舗などの充実</u> は社会潮流として進んでいくものと認識しており、ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
28	26 (要約版2)	どこに住んでいても好きな飲食店を利用すると思うので、 <u>レストランや喫茶店などは重要視しなくても良いのではないかと、ただ、近くに好きな飲食店があればなお良いが、フラワータウンへの誘致は難しいでしょうか？どうすれば誘致出来るかを考えましょう。</u>	ご意見のとおり、 <u>居住地周辺に限らず利用したい施設があればそこを利用されることは通常と考えております。</u> しかしながら、今後、 <u>高齢化の進展などにより、暮らしを支える様々な機能を住区の近くに配置する必要性が高まるため、住民のニーズに応じた建物の配置を促進する取り組みをビジョンP.67に記載</u> しています。ご意見につきましては、地域の活性化に繋がる賑わいの創出に向けた取り組みの参考とさせていただきます。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-8 その他再生に向けた取り組みに関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
29	52 (要約版5)	オープンスペースでのキッチンカー等々、非常に良い案だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。フラワータウンの魅力の創出に繋がる取り組みに努めてまいります。
30	52 (要約版5)	今の時代、基本になっているが、脱炭素社会はここでは別のテーマでは？太陽光発電システムの導入はあくまで理想だが、購入金額が上がり、若い世代の負担になる。補助を出すか？高齢の方も良いと思うか？良いと思う方は、かなりの上流階級な方ではないか？ここは、ビルダー側の企業努力にお願いするしかないのではないか。	本市は令和3年6月に脱炭素社会の構築を目指すことを表明しており、新たに生まれ変わるまちを目指す上で温暖化対策に取り組む姿勢が求められます。このため、ビジョンP.70には、地球環境への負荷を低減するまちづくりを進める取り組みを記載しており、 <u>公共施設や住宅において自然エネルギーの活用を推進し、新たな価値を創出したいと考えています。</u> なお、国及び兵庫県が実施している太陽光発電設備等に対する支援制度を周知し活用の促進に努めてまいります。
31	74 (要約版8、9)	情報の発信が少ないのでは？ 篠山の丹波篠山味祭りなどすごい。	今後の取り組みとしてビジョンP.74に、フラワータウンの魅力やライフスタイルを内外に情報発信することを記載しています。ホームページをはじめ、あらゆる媒体を駆使し、また、イベント開催などによりフラワータウンの <u>魅力発信に努めていきたいと考えています。</u>
32	81	<u>生活体験による移住促進は何年か前から実施しているが、効果はあったのか？</u> また、移住経費の補助はありがたいとは思いますが、多様な選択(住戸)、がある事が最重要。補助の制約条件等は不明瞭で、出ると思っていたのに適用されなかったとの声をよく聞く。後付けが多く、廃止になった補助制度もあるようだが、 <u>もっと分かりやすく、事前にアピール、検討時のプラスとなるような支援制度でなければならないと思う。</u>	兵庫県により平成30年から実施されております「お試し居住」事業は、これまで多くの方々体験され、三田市への移住に繋がるケースもあり、 <u>一定の効果があるものと認識しています。</u> ご意見につきましては、移住検討時のプラスとなる支援制度となるよう、引き続き制度の周知や内容の検討の参考とさせていただきます。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-8 その他再生に向けた取り組みに関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
33	86	外部検討会やFT推進協議会構成員の企業はFT内の関連企業だけだが、URや他のプロジェクト事業者など広く公募すべきでは？ 例えば、区画が決まれば、高齢者住宅等は街づくりと合わせた事業として公募とか。	フラワータウンの再生に向けた取り組みの推進体制についてビジョンP.78に記載しています。新たな事業者をフラワータウンに呼び込むため、市場調査などを実施し、事業者の発掘、参画促進に向けた取り組みを進めることとしています。
34	—	私がフラワータウンに家を購入した理由は、「街並みがきれい」、「魅力ある公園が多数ある」、「ニュータウンの良さ(ご近所付き合いが簡素)」、「弥生が丘のお祭りに、たまたま遭遇。アットホームな感じで印象が良かった(子供のアナウンスなど)」、「三田のニュータウン＝ハイソサエティー、治安が良い、学校がハイレベル」など、非常に良いイメージだった。 多世代に選ばれるまちについて、当たり前ですが、イオンモールを利用される所を拡充するなど「良い」と評価されていない所の拡充が必要です。	現在のフラワータウンの環境で困っていること・不満な点として「バスの本数が少ない」、「商業・サービス施設が少ない」、「商業施設、公共施設の老朽化」、「公園・道路の植栽の管理が行き届いていない」などが挙げられます。これら評価されていない部分を改善し、フラワータウンの再生に繋がる取り組みをビジョンに記載しており、その取り組みを進めてまいります。
35	—	気軽に入れる飲食店が少ない。できれば駐車場もついている飲食店が増えると嬉しい。	飲食店などの出店については事業者が需要を勘案し判断されますが、住民のニーズに応じた建物の配置を促進する取り組みをビジョンP.67に記載しています。ご意見につきましては、地域の活性化に繋がる賑わいの創出に向けた取り組みの参考とさせていただきます。
36	—	高齢者で優れた経験、知識を有している人がいるはずで。そういった方々による知的集団なる組織を作り、三田の知識、文化の起点となってもらう必要があります。	フラワータウンには経験豊富で優れた知識がある住民が存在していることから、人材育成と活用を図りながら、フラワータウンの活性化に繋がる取り組みを検討してまいります。

フラワータウン再生ビジョン（案）に対する市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について

B 再生ビジョン（案）は修正しないが、今後の取り組みの参考とするもの

B-8 その他再生に向けた取り組みに関すること

No.	ページ	意見	市の考え方
37	—	フラワータウンの近くには市立図書館と三田学園が、フラワータウン内には北摂三田高校があり、優秀な学生を輩出しています。学生は何らかの意味で地域発展に貢献したいと思っているはずで、学生との交流を文化教養施設の核である博物館や図書館などで行い、彼らの知恵も出してもらおうのです。学生の評判がよくなれば、人が集まるようになります。彼らが成人してここに住む、あるいはここに戻ってくる魅力ある街づくりが必要です。	ご意見にある、学生に知恵を出してもらい、学生の評判を向上させることは、フラワータウンの将来に有意義であると考えています。学生がフラワータウンに戻ってくる魅力あるまちづくりが必要であり、そのための学生との交流などについて、今後の参考とさせていただきます。
38	—	フラワータウンには大学はありませんが、高校などをクローズアップした、大学、学校を核としたまちづくりが必要です。学生との交流、先生との交流を図書館、博物館を通してやればよいと思います。彼らの若い考えを吸い上げる必要があります。	現在、関西学院大学三田キャンパスの学生により、フラワータウンにおいてまちづくりに関する様々な活動を実施していただいています。その活動を通じて学生との交流や意見の聴取を踏まえ、再生に向けた取り組みへ繋げていきたいと考えています。
39	—	狭間が丘にある県営住宅も古くなっているため、直ちに高層の県営住宅に建て直す必要がある。今のままだとますますフラワータウンがさびれていく感じになる。すべての人が持ち家とは言わないまでも、衣食住の内、住居が安定すれば、他はある程度、人は我慢できるというのが、私が感じたシンガポールの豊かさです。	ご意見にある兵庫県営住宅は、兵庫県が定める「ひょうご県営住宅整備・管理計画」に基づき、昭和63年の建物であることから当面現状活用していく団地としています。 既存の住宅タイプを活用し、世帯構成やライフステージの状況に合わせた住宅を選択できる仕組みづくりの取り組みをビジョンP.65に記載しています。ご意見にあります「住居の安定」は生活を営む上で重要なことであることから、今後の取り組みの参考とさせていただきます。